（配付資料 2）

2008.12.10

お茶の間にイルカ達を

―インドのガンジスカワイルカと伊豆・三津（みと）シーパラダイスのハンドウイルカの リアルタイム情報発信プロジェクトの始動―

図版集

図 1：ブタバランガ川で発見されたガンジスカワイルカ（Dr.Sandeep Behera/WWF-インディア提供）

図 2：ガンジスカワイルカの典型的なクリックトレインと一個のクリック

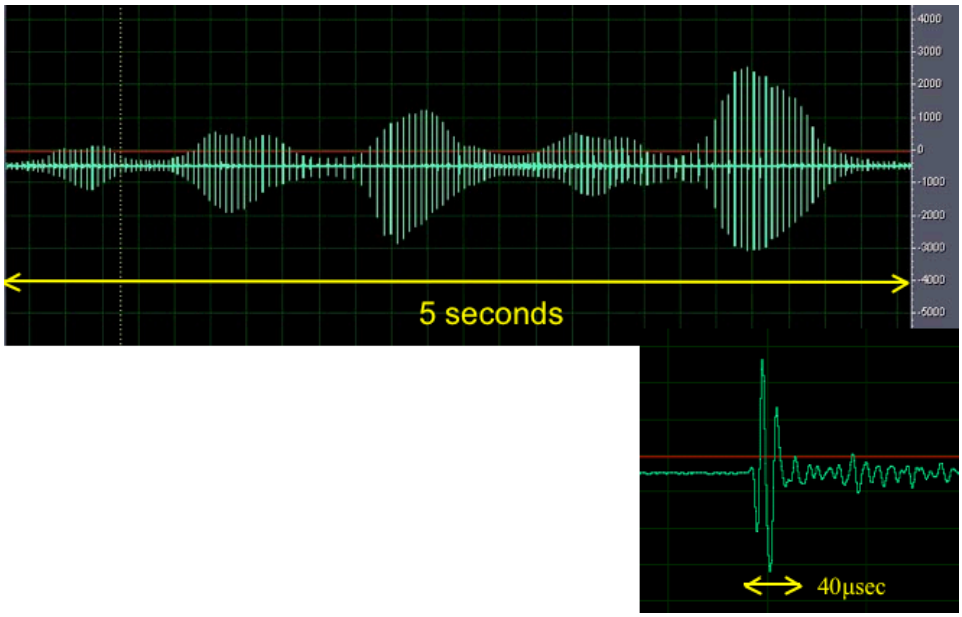


図 3：ガンジスカワイルカの典型的なクリックトレインと ICI

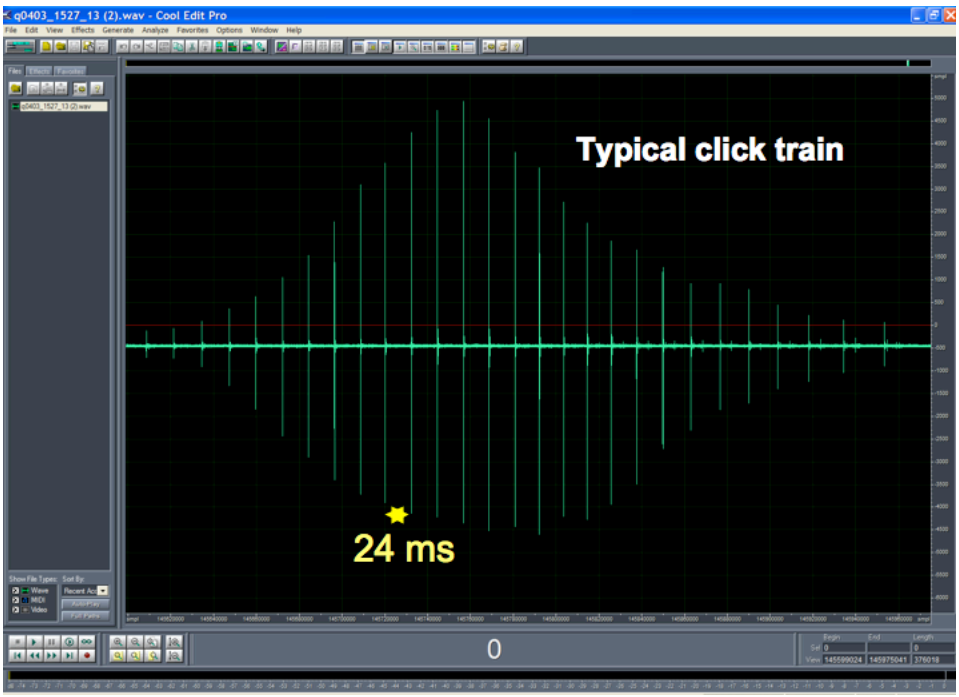


図 4：WWF インディアが制作したガンジスカワイルカの調査地図より

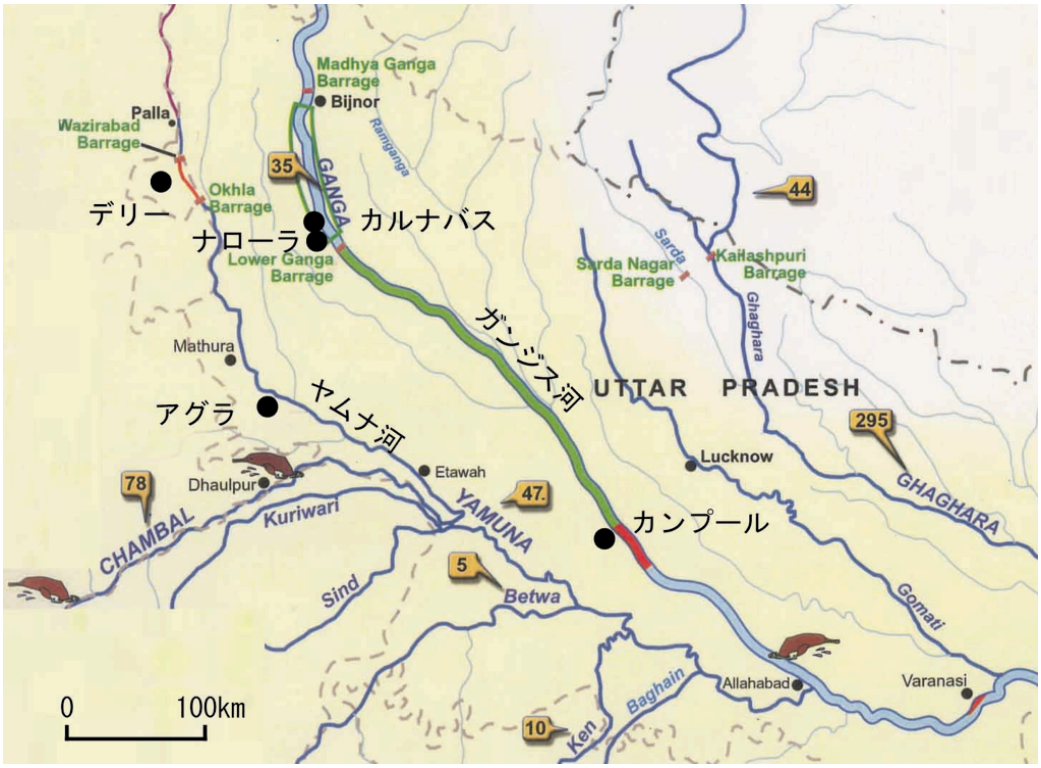


図 5：ナローラーカルナバス間に棲息するガンジスカワイルカ

図 6：ナローラーカルナバス間に棲息するガンジスカワイルカ（Dr.Sandeep Behera/WWF-インディア提供）

図 7：2008 年 1 月に開発したコンパクトな十字型 6 素子ハイドロフォンアレイシステム

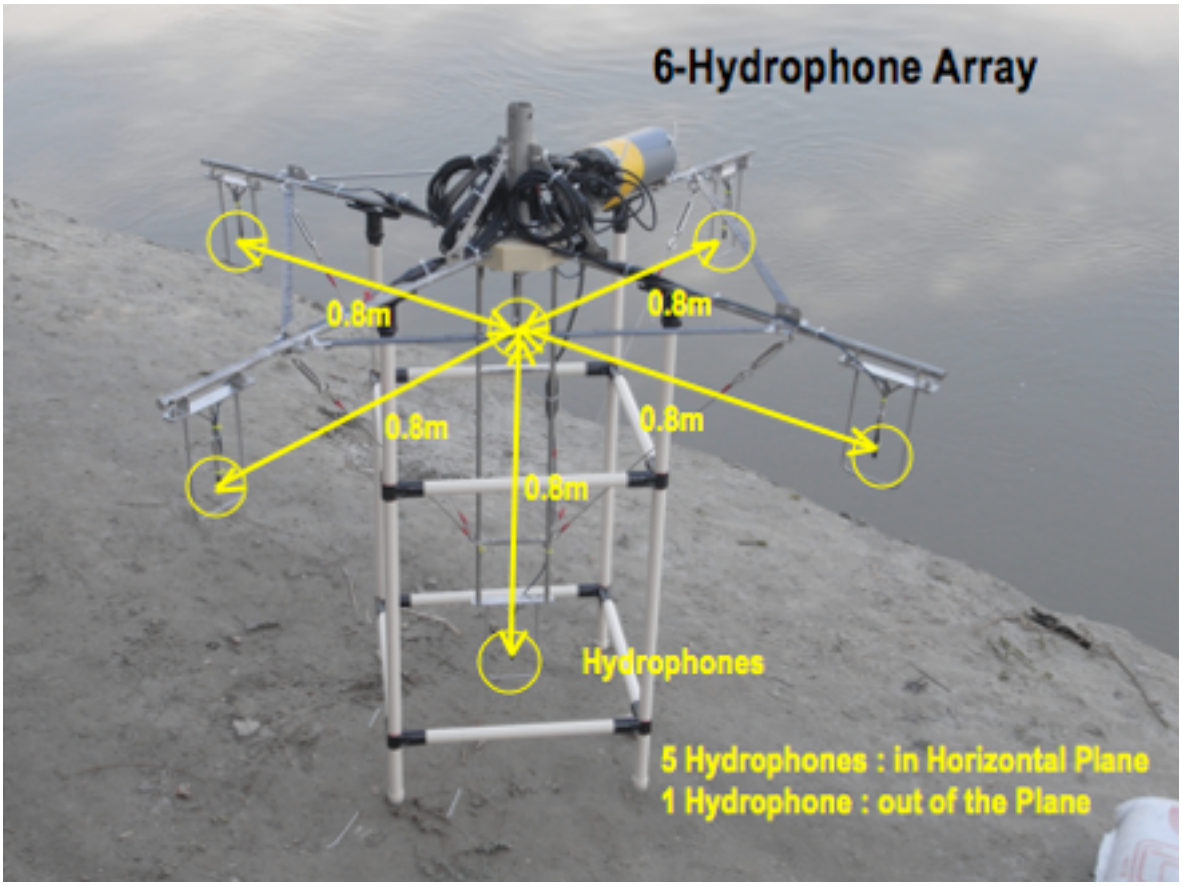
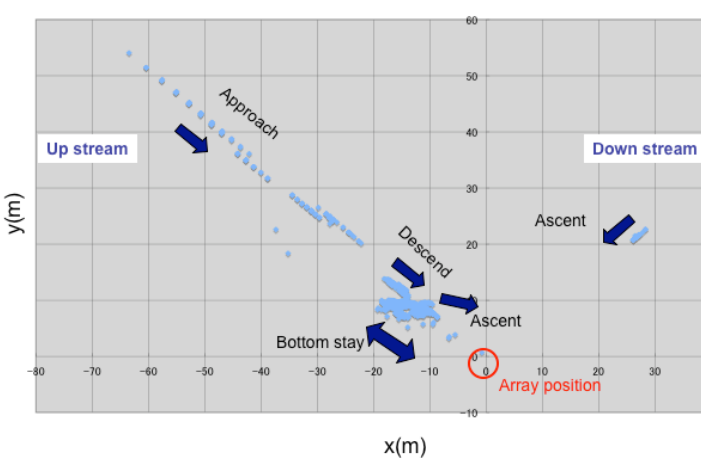
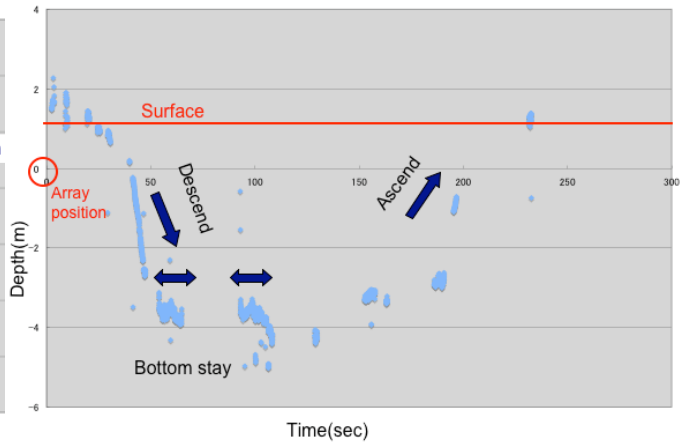


図 8：2008 年 2 月、アレイを観測スポットに運ぶ

図 9：2008 年 2 月の 5 分間のデータ解析例より（ファイル名：0220-184331）、ここでは一頭のガンジスカワイルカがアレイの 10m程度近くまで接近しています。また、その間、川底近くをうろうろしているのが分かります



イルカの 2 次元軌跡



イルカの深度方向の移動

図 10：図 9 における一頭のガンジスカワイルカの 4 次元軌跡（イルカからアレイまでの距離 20m以内のデータ）、川底近くにイルカがいる間、イルカはアレイよりかなり手前を見ています

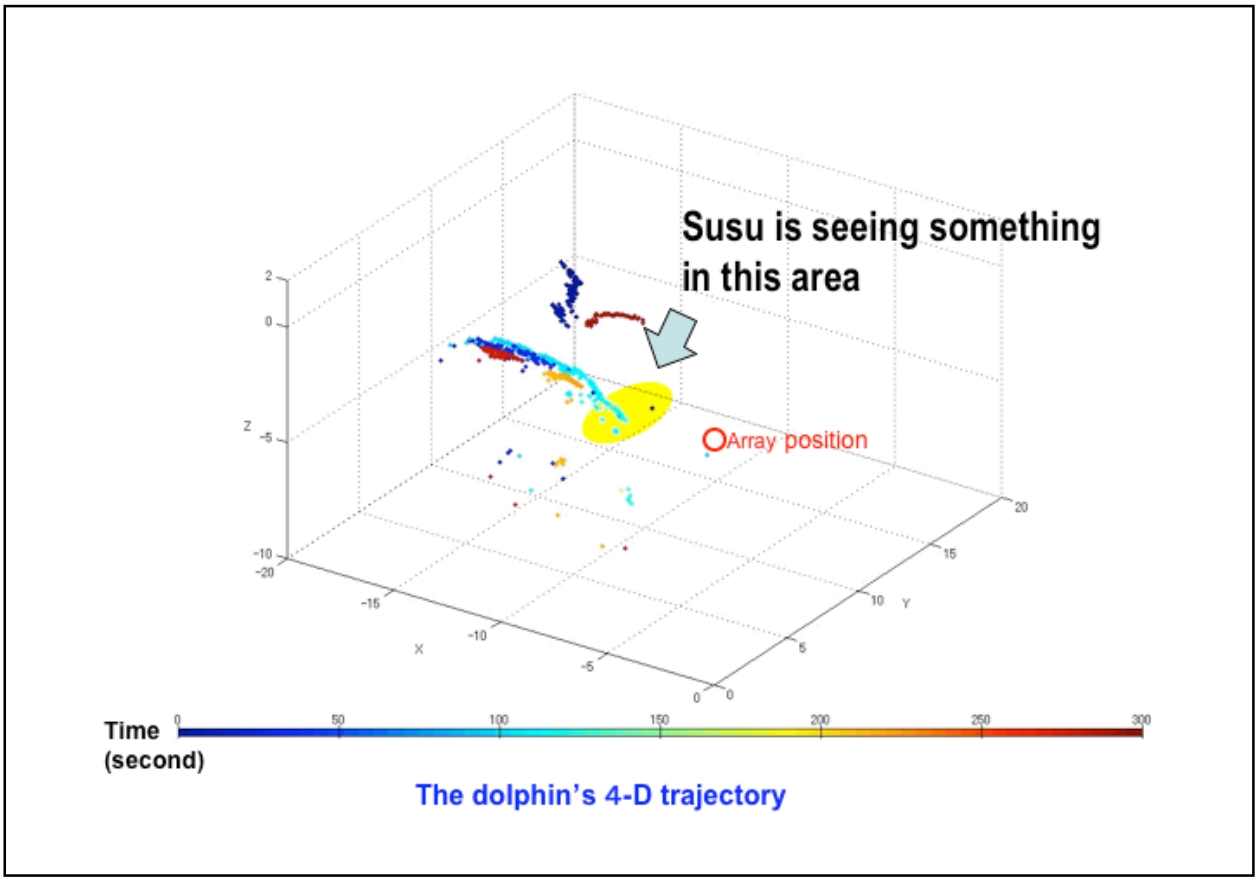


図 11：長期音響生態モニタリング INCASTS のシステム概要

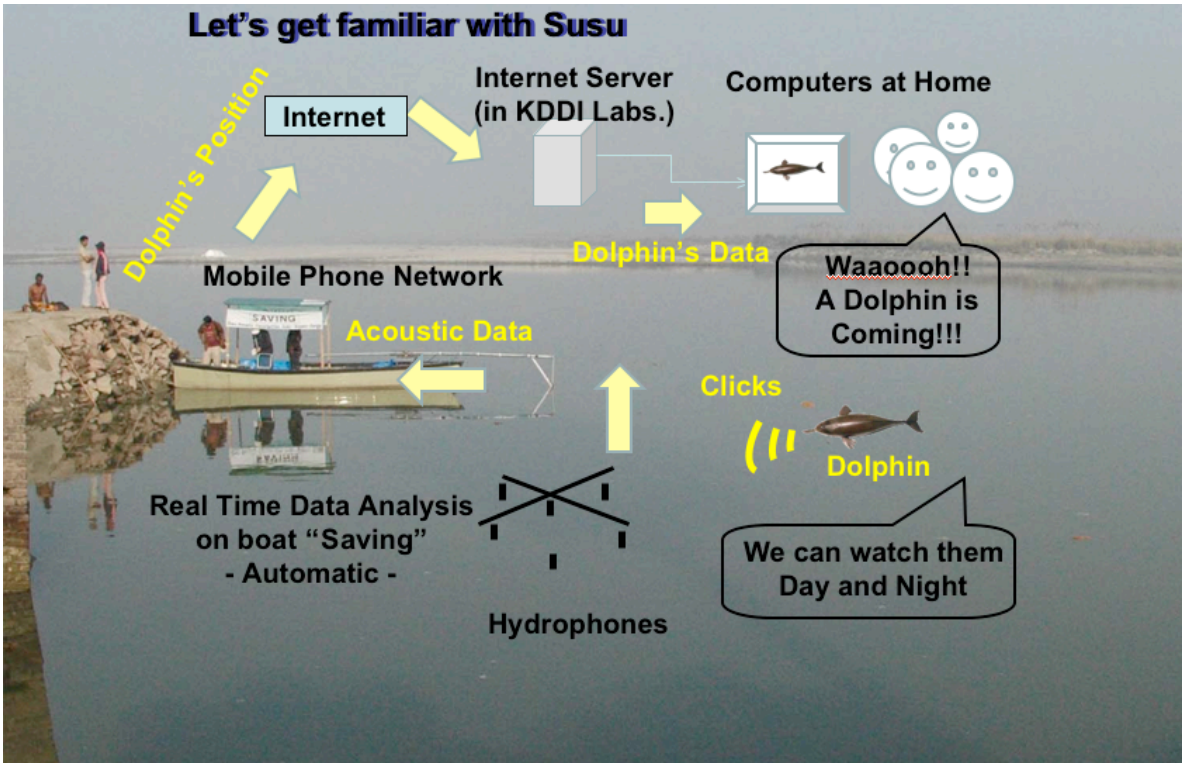
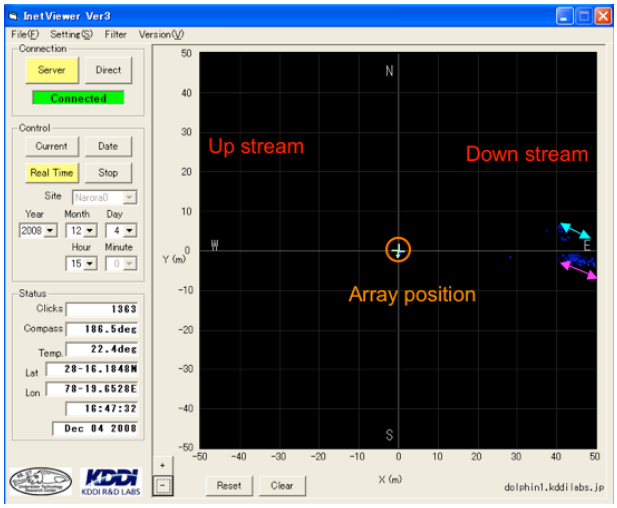


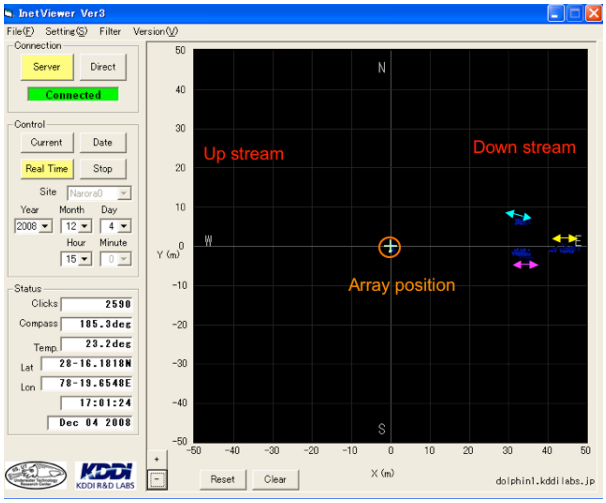
図 12：2008 年 11 月、カルナバスの河川敷でのアレイの組み立て作業

図 13：2008 年 11 月からの観測状況

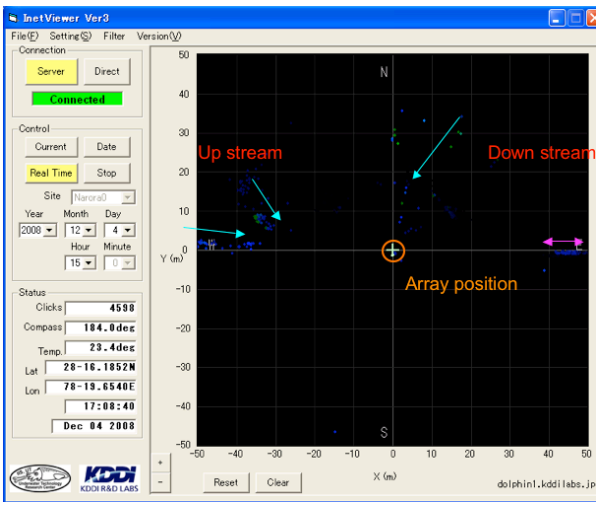
図 14：2008 年 12 月 4 日、16 時 47 分 32 秒頃ー17 時 08 分 40 秒（インド時間）のイルカの軌跡、アレイから 40m程度下流側にイルカが滞留しているが分かります



2 頭のイルカがいる



2ー3 頭のイルカがいる



2ー3 頭のイルカがいる

図 15：伊豆・三津シーパラダイスのイルカプール地図

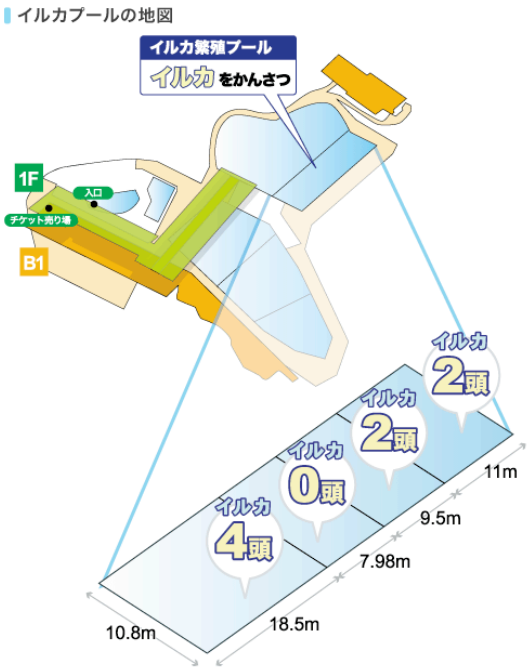


図 16：ハンドウイルカの総合的生態モニタリングシステム図

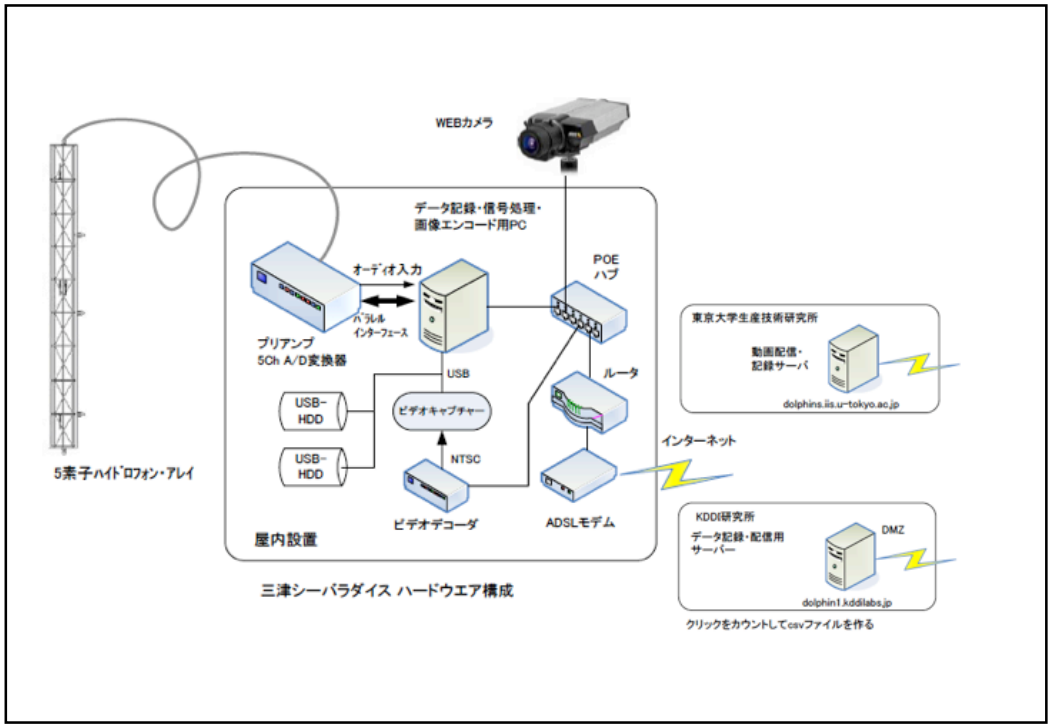


図 17：2008 年 10 月 21 日 10 時 43 分 36 秒のウェブ・カメラからの映像

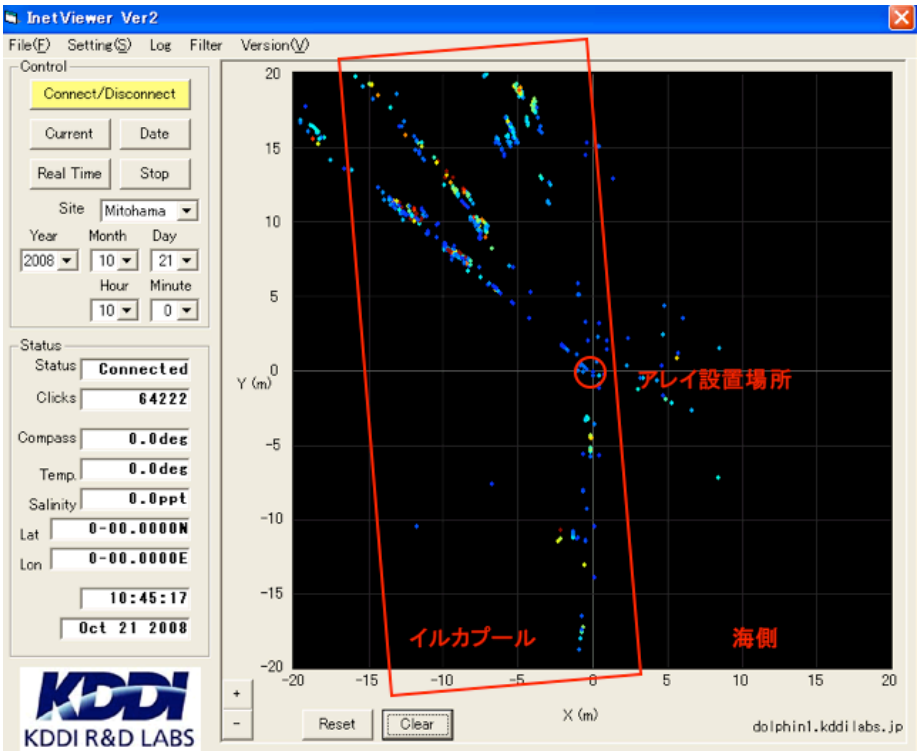



図 18：2008 年 10 月 21 日 10 時 40 分頃から 10 時 45 分 17 秒までの約 5 分間のイルカの水中 2 次元軌跡